



実践テーマ

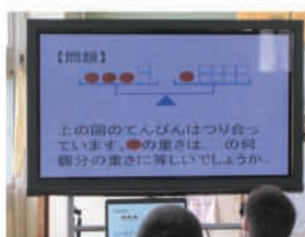
電子黒板を活用し、計算のスキル向上を目指した教材により、生徒に考えさせる。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

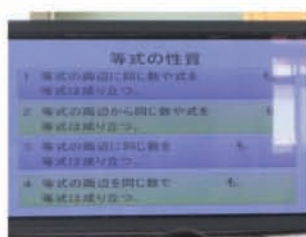
- 〈導入〉 ●の重さは□の何個分の重さになるかを調べるために、てんびんの上のせた●と□を自作教材を使って提示。
- 〈展開〉 ワークシートを用いて生徒に課題を考えさせ、発表。アニメーションを使ってイメージさせる。図から文字を使って式を求める。
- 〈まとめ〉 等式の性質のまとめをスライドを使って提示する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・計算ドリル（1分間の計算問題） ・てんびんの図を提示し、つりあいの問題を考える（問題提示）（PC教材①）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自作PC教材 使用ソフトウェア： PowerPoint®（Microsoft Corporation）
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに自分の考えを記入する（図・文章）。 ・問題の解答を、プレゼンテーションソフトウェアを使って説明（3分間）（PC教材②）。 ・図から文字を使って式を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシート ●自作アニメーション
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・等式の性質のまとめ（文字の穴埋め）（PC教材③） ・自己評価 	<ul style="list-style-type: none"> ●自作PC教材



てんびんからつりあいの問題を考える



等式の性質をまとめる



要点をすっきりとまとめた板書

生徒の反応・効果

- ・生徒の視線が上がり集中して話を聞くことで、生徒の理解が深まった。
- ・生徒が発言したことをまとめ、教師がアニメーションを使って説明することで、生徒の理解を深めることができた。
- ・マスク表示で隠しておいた情報（解答）をワークシートと同じ形式で見せることで、わかりやすく理解が深まった。

活用のポイント

- ・ウォーミングアップとして3分程度、計算ドリルを使って計算演習を行う。
- ・電子黒板を使用することで、黒板に用意したり、記入する時間を省くことができる。
- ・図を電子黒板で提示し、方程式を黒板に板書することで、要点をすっきりまとめた板書が可能となる。